

## 国語科現状の分析と授業改善プラン

### 国語科における平成 29 年度改善プランの検証

- ・「聞き取りテスト」の定期的な実施だけでなく、様々な形態、テーマで話し合う活動を行うことで「話し合いの内容を聞き取る」ことの正答率を上げていると考えられる。
- ・「話し合いとメモの読み比べ」「テーマを決めての話し合い」「手紙のメモと下書きの読み比べ」「既習漢字を生活の中で活用」などの指導を行うことで、情報を取捨選択し、語彙の知識を生かして内容を明確に伝える力が身につけてきている。
- ・既習漢字の読み、書きの力は、まだ十分ではないので、引き続き授業の中で指導を強化していく必要がある。

### 国語科における内容別結果の分析

- ・ほとんどの領域において目標値を上回っている。目標値には達しているものの、二学年では漢字の読み書き、一学年では「話の内容を聞き取る」分野の正答率が目標値を下回った。改善のためにはいろいろな文章を読ませ、毎日の授業で言語活動や話を集中して聞き取ることを意識的に取り組ませたい。

### 国語科観点別結果の分析

#### 〈関心・意欲・態度〉

- ・「国語への関心・意欲・態度」は、どの学年も目標値を上回っており、全体的にはおおむね良好である。

#### 〈話す・聞く能力〉

- ・「話の内容を聞き取る」は、二学年、三学年が目標値、全国平均を上回っている。特に三学年は大きく上回っている。一学年が若干下回っており、日頃の授業での発表の聞き取りや聞き取りテストの実施、スピーチ練習とともに、学校全体としての言語活動を継続的に取り組むことが必要だと考えられる。

#### 〈書く能力〉

- ・三学年とも目標値を上回っている。国語科の授業に限らず、学校全体として日頃から書く活動を積極的に取り入れている効果だと考えられる。

#### 〈読む能力〉

- ・「文学作品を読み取る」は正答率が三学年とも目標値を超え、作品の展開に即して心情をとらえられていることがわかる。「説明文の内容を読み取る」は、おおむね目標値を上回っている。三学年では「文章の構成や展開をとらえることができる」「文章の内容をとらえて、それを具体的な事例にあてはめることができる」は目標値に届かなかったので、書き手の論理の展開を的確に理解し、身の周りのことに置きかえて考えるなどの活用が必要である。

#### 〈言語についての知識・理解〉

- ・漢字の読み、書きは三学年とも目標値を上回っているが、「文法・語句に関する知識」に関しては、二学年では文節、単語の理解の不足が若干見られる。定期的な振り返りによる定着を図る必要がある。

### 国語科の授業改善のポイント

1. 「話すこと、聞くこと」においては、集中して話を聞くこと、また、正確に聞き取った内容を自分の話す内容に活用できるように指導をする。
2. 「書くこと」においては、様々な観点から自分の意見を書き、互いの文章を読み合い自分の文章の内容を深められるような授業展開をすることで、課題に沿った文章を適切な表現で書く力を養う。
3. 「読むこと」においては、文章構成、接続する語句、指示する語句などに注目し、要点を明確に捉えさせることで説明的文章を読む力を高める。
4. 既習事項を授業の中で振り返る時間を設け、日常的に使える力を身につけさせる。